

特集

いまさら文革、いまなお文革、いまこそ文革

「いまさら文革、いまなお文革、いまこそ文革」の特集にあたって ●…… 1

対談

「文化大革命」に見たもの

●小島麗逸×加々美光行 司会 三好章…………… 7

論説

なぜ文化大革命は過ぎ去らないのか

——日本の「進歩的」中国研究者の「結果責任」を問う—— ●石井知章…………… 27

文化大革命における政治と法 ●金野純…………… 51

中華民国(台湾)からみた文化大革命

——ビクター・ルイスと華ソ接近問題を例として—— ●川島 真……………75

花岡事件と文化大革命

——日中友好協会の運動との関わりを中心に—— ●坂井田夕起子……………95

名誉回復、未だ成らず

——反革命罪のキリスト教伝道者・王明道—— ●松谷曄介……………119

一九六〇年代初頭、新疆ウイグル自治区から 国外移住した「新疆人」を追って ●水谷尚子……………147

寧夏山間地回族の「二〇年間の大災厄」の記憶と イスラーム復興 ●松本ますみ……………167

文革後の革命模範京劇 —— 伝統京劇との連続性 —— ●加藤 徹……………193

漫画

八歳の死刑囚 ● 辣椒

207

天南地北

文化大革命の記憶——回顧録と同人誌を資料として ● 高口康太

213

書評

方法としての〈六朝〉

——鄭毓瑜『姿と言』『引譬連類』を評す ● 林少陽

227

馬場毅編『近代日中関係史の中のアジア主義』

——東亜同文会・東亜同文書院を中心に ● 藤谷浩悦

233

張小虹著 橋本恭子訳『フェイクタイワン』

——偽りのタイワンから偽りのグローバルゼーションへ ● 吉原ゆかり

242

書 訊

Book

松岡正子・黄英哲・梁海・張学昕編『歴史と記憶——文学と記録の起点を考える』 加治宏基……………226